

事前評価書

<p>1 事業名</p> <p>急傾斜地崩壊対策事業</p>	<p>地区名・路線名等</p> <p>しもやしきくいき 下屋敷区域</p>
<p>2 事業概要</p> <p>(1) 位置 豊田市大平町地内</p> <p>(2) 規模・内容 擁壁工 一式</p> <p>(3) 事業期間 平成21年度～平成25年度</p> <p>(4) 事業費 200百万円</p>	
<p>3 必要性</p> <p>岩崎区域は豪雨等により崩壊するおそれがある急傾斜地であり、被害想定区域内には人家8戸および避難所である公民館への避難路となる主要地方道土岐足助線が存在する。よって急傾斜地崩壊防止施設を整備し、斜面の崩壊によって生じる被害を軽減させるものである。</p>	
<p>4 事業効果</p> <p>(1) 評価期間 事業着手から事業完了後50年</p> <p>(2) 基準年度 平成20年度</p> <p>(3) 基準年における総費用（C） 186百万円</p> <p>(4) 基準年における総便益（B） 335百万円</p> <p>(5) 便益の内訳 一般資産被害や人的被害などの軽減額</p> <p>(6) 費用対効果（B/C） 1.80</p> <p>(7) その他 災害安全度の向上による、住民の精神的な安心感</p>	
<p>5 事業をめぐる社会情勢</p> <p>近年、全国的に豪雨や地震によるがけ崩れ災害が多発しており、急傾斜地崩壊対策事業に対する期待が高まっている。</p>	
<p>6 その他特記事項</p> <p>特になし</p>	